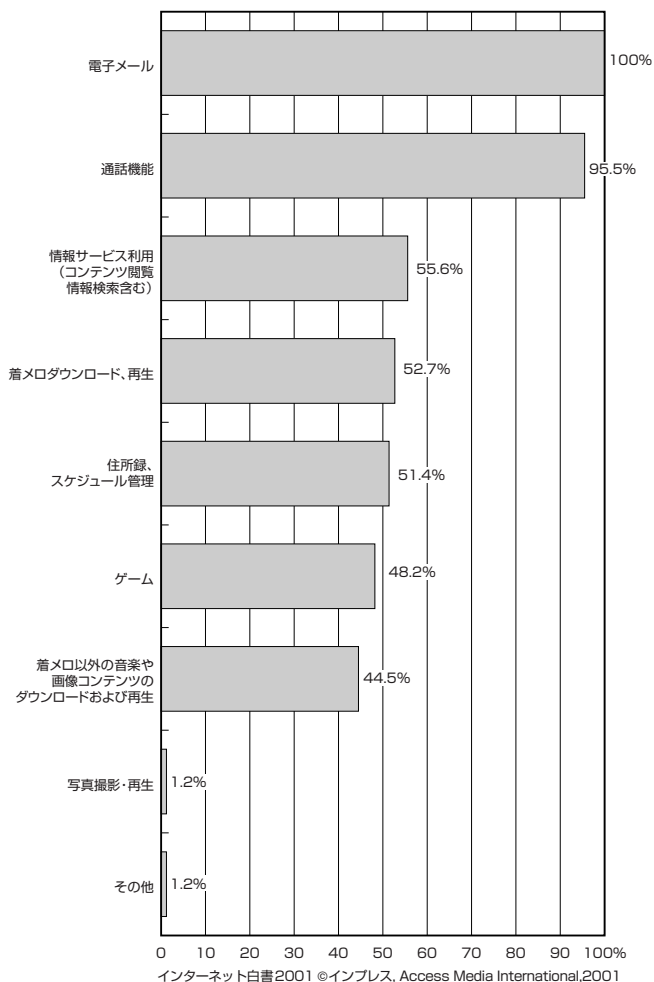


## 第2章 携帯電話/PHS利用者

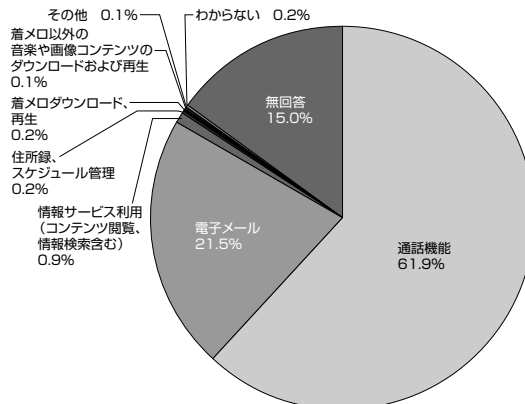
## 利用用途

## メール利用は100%、通話は95.5%

資料1-2-8 携帯電話/PHSの利用用途 N=1,100



資料1-2-9 携帯電話/PHSの主な利用用途 N=1,100



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International, 2001

## 解説

## ■利用用途

今年は携帯電話/PHSを情報機器として、通話も含め、総合的な用途を聞いている。単数回答の「主な利用用途」(資料1-2-9)では、従来の位置付けでもみたとように「通話機能」が6割を超え、主な用途となっているが、複数回答(資料1-2-8)でみると、用途の実態が理解しやすい。対象としている回答者が携帯電話/PHSのインターネット利用者であるため、「電子メール」が利用用途として高いことは予測できたが、通話の95.5%を上回り100.0%になるとは驚きである。むし

ろ「通話機能」を使わずメールのみに利用している回答者がいるという点からは、利用実態として携帯電話/PHSはすでに電話機の枠を超えているといっていよう。また、複数回答であるため用途の幅が広いこともわかる。「情報サービス利用」「着メロダウンロード、再生」「住所録、スケジュール管理」などはそれぞれ過半数となっている。1人当たりの平均利用用途は4.50である。

性別年代別にみると、女性と10代で相対的に通話が低く、電子メールが高い。また、「着メロダウンロード、再生」や

「着メロ以外の音楽や画像コンテンツのダウンロードおよび再生」が高いのも女性と10代、20代である点が特色といえるだろう。さらに、1人当たりの利用用途が多いのは10代、20代で、総合的には男性がやや女性を上回る。

## ■利用場面/他メディアへの影響

携帯電話/PHSでのインターネット利用者は先にみたように複数機器からのインターネット利用者である場合が多いが、その中で携帯電話/PHSからインターネットを利用する場面、シチュエーションを聞いたのが資料1-2-10である。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)